

# 議会広報創刊号議長あいさつ

議長 藤瀬 光正



旧神埼町、千代田町及び脊振村が本年3月20日に合併し、人口3万4千人の神崎市が誕生いたしました。また、4月23日の選挙において、新しく26名の議員が誕生し、神崎市議会がスタートをいたしました。

5月2日に開会しました合併後の最初の議会において、不肖私を初代議長に選任していただき、直ちに就任をいたしましたところです。

私にとりまして、まことに光栄でありますと共に、責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いをいたしております。

今、地方自治体を取り巻く環境は、少子高齢社会の到来、情報化・国際化の進展など日進月歩で変化しており、地方の時代といわれながら、地方にとっては厳しい状況が続いております。国においては、税源移譲、補助金の見直し、地方交付税の見直しなど三位一体改革が進められておりますが、地方が地方としてのよさを十分発揮できるような財源の確保など、地方の実情に配慮した国策を切望するものです。

新生神崎市が誕生して約半年が過ぎましたが、新市長期総合計画の策定をはじめとして、合併後の課題は山積しております。議会といたしましても、新市の将来像であります「自然と歴史と人が輝く未来都市」を目指し、市民が「神崎市に住んで本当に良かった。」と自慢できるような、旧3町村の歴史、文化を始めとして地域の特色を生かした、均衡ある市の発展に最大限の努力をすることが務めであると考えております。

私といたしましても、もとより浅学非才の身であります。議員の皆様はもとより、市民の皆様のご指導ご鞭撻を賜りながら、議長の職責をまっとうすべく最大限の努力を惜みず、円滑な議会運営が出来るよう務めていく覚悟であり、執行部と共に市発展に誠心誠意努力していく所存であります。

市民の皆様におかれましては、格段の御理解とご協力を心よりお願い申し上げます。